

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すぎな愛育園きらきら		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・家庭との密なコミュニケーション	・定期的な個別支援面談に加え、日々のおたより帳、交換ノート、電話、メールなど多様な方法で家庭と情報共有、相談等を実施している ・家庭からのフィードバックを大切に、サービス向上に繋げている	・日中の活動を見てもらう機会を増やし、利用者の現状や支援について理解を深めてもらい、情報共有、相談を実施する
2	・利用者のニーズに応じた柔軟な支援、個別対応がしやすい体制	・日々の記録に基づく定期的なアセスメントを踏まえ、子どもの現状に沿った個別支援計画を立て、柔軟な支援を行う体制を整えている	・様々な専門分野のスタッフの意見も取り入れながら、利用者一人ひとりの特性やニーズを把握するための評価やアセスメントを充実させる
3	・職員間のチームワーク	・職員同士が話しやすい雰囲気を作り、話し合いをする機会を多く設けており、情報共有やサポートなど協力して支援を行う体制を整えている	・時短の職員もミーティングに十分に参加できるような体制を整え、情報共有や意見交換を活発にし、職員同士の理解を深める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の他の支援機関や団体との連携の不十分さ	・他機関とのコミュニケーションの不足 ・各機関の役割が不明確である	・利用者に対する包括的な支援のため、他機関を直接訪問したり、関係者会議など対面で情報共有する機会を積極的に設ける
2	・事業所の支援、活動内容等について、地域や家庭に対しての情報提供の不十分さ	・支援や活動内容を発信する媒体や回数の少なさ	・HPやSNS等も活用して、事業所のサービス内容やイベント情報を発信して、地域や家庭に幅広く活動を知ってもらう機会を増やす
3	・人材育成プログラム	・育成プログラムに参加する時間の余裕の少なさ ・人材育成に関する具体的な計画の不十分さ	・人材育成に関する計画の策定、見直しを徹底する ・定期的な研修やスキルアップの機会を増やし、かつ内容を充実させ職員の専門性を向上させる

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		すぎな愛育園きらきら				公表日	2025年 3月 31日		利用児童数	20名		回収数	20名	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応						
		1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1	1	1	・園庭が狭いため散歩の機会を増やしてほしい ・プレイルームはあるが教室は子どもの距離が近いと感じる	・近隣の公園へのお出かけを増やしていきます ・子どものどうしの距離感が近くなりすぎないように活動や人数に応じて環境を見直します					
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	5	0	3	・3名の職員で10名の子どものみるのは大変だと思ふ、職員退職後の補充がなかった・配置は適切だと思うが職員の業務が多いように感じる。おたよりなど電子化にすべきではないか	・支援に重点を置きながら他の業務の見直しも実施していきます							
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	0	1	・絵カードなどを壁に貼るなど発語の難しい子どもへの対応ができています								
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0	・木のぬくもりを感じられる空間でとても居心地がよいです ・よく掃除がされていると思います。活動によって部屋が分けられています ・いろいろなタイプの子どものへの対応ができています								
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0	・子どもの小さな成長も見逃さずそれに ・いろいろなタイプの子どものへの対応ができています							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	1	・子どもの小さな成長も見逃さずそれに ・子どもの小さな成長も見逃さずそれに ・子どもの小さな成長も見逃さずそれに ・子どもの小さな成長も見逃さずそれに ・子どもの小さな成長も見逃さずそれに ・子どもの小さな成長も見逃さずそれに ・子どもの小さな成長も見逃さずそれに	・支援プログラムの周知とそれに沿った活動を充実させていきます						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	0	・計画書も分かりやすく表示されており、目標や支援も満足のもの ・計画書も分かりやすく表示されており、目標や支援も満足のもの ・計画書も分かりやすく表示されており、目標や支援も満足のもの ・計画書も分かりやすく表示されており、目標や支援も満足のもの ・計画書も分かりやすく表示されており、目標や支援も満足のもの ・計画書も分かりやすく表示されており、目標や支援も満足のもの ・計画書も分かりやすく表示されており、目標や支援も満足のもの							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0	・根気強く取り組んでもらえました。食具の使用やトイレトレーニング等いくつかも成果が出ています							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2	0	1	・様々なプログラムがあり、とても楽しみにしています	・発達や集団の状況を踏まえた活動を充実させていきます						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	1	0	0	・保育園交流や地域の方とのイベントも開催されていてよいと思います	・保育園交流に加え、地域の公園などへの外出を増やしていきます						
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	1		・運営や支援内容について分かりやすく丁寧な説明を心がけます						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	0	3	・勉強会のような機会がほしかった・家族支援プログラムが具体的にどのようなものが分からない ・学習会の頻度は低いが機会は設けられている。保育参加は希望すれば何回も機会はあります	・学習会の充実、回数の見直しを行います						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	2	0	0	・交換ノートや電話で情報を共有できている	・個別支援面談のみならず、電話やメールなどを用いてお子さんの状況などを家庭と情報共有していきます						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	0	0								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	・いつもあたたかい支援をいただいていると感じている							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	3	1	1	・保護者同士の交流の機会はあるが、兄弟への支援は特にな ・兄弟も参加できるイベントを増やしてほしい ・保護者会等の際、兄弟連れを快く受け入れてい	・兄弟も参加できるイベントが夕涼み会のみのため、他のイベントの実施も検討していきます						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	0	0		・相談等の体制についての周知、対応についてより良いあり方を検討します						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	1	・適切な手段がなされていると思う	・ご家庭や子どもの状況を踏まえた情報伝達の方法を検討します
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	2	0	1	・個人情報などで難しいと思うが、日中の様子を写真などで見られると嬉しい・写真販売の機会が増えるといい・業務に関する自己評価の結果の発信は特にはない	・日中の活動の様子を伝える手段がおたより帳中心のため、他の方法でお知らせできるよう検討します
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	0	・マニュアルが徹底されていると感じる	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	1	・訓練が定期的に行われている・毎年訓練があるので、どのように対応したらいいか覚えられてよい	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	0	・子どもたちを守る目があると思う	・遊具点検や定期的な安全点検を徹底し安全な環境を整えます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	0	・小さな怪我でも報告が徹底されている ・怪我をした際も病院で検査をするなどの迅速な対応があった	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1	0	0	・安心して通っています・毎日笑顔で人が大好きになりました	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	2	0	0	・先生やお友だちに会うのを楽しみに通園しています・とても楽しく通っており満足しています・休んでいるときに「すぐにいきたい」と言うくらい楽しみにしています	・通所が楽しみになるよう活動プログラムの見直しを定期的に行います
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	1	0	・子どもの成長や変化を敏感に感じてともに喜んでくれるため感謝している・通わせて本当に良かったです・子どものどのような行動も個性として受け入れてくれ、頭が下がる・支援についていろいろと考えてくださり感謝している・活動に物足りなさを感じることもある	・発達段階に沿った活動となるよう内容を検討していきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	すぎな愛育園きらきら		公表日 2025年 3月31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	7	0	・活動によって部屋を使い分けている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・職員の専門性を高めるために研修の機会を設けている ・クラスや職種を超えて園全体で情報を共有し支援を行っている	・利用者の状況やニーズ、職員の知識や経験を考慮した配置・定期的な評価・既存の職員には研修行って専門性を高める
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・日課や流れを視覚的に示している ・感覚過敏な子どもに、落ち着くための静かなスペースを用意している ・物品や行動を視覚的にサポートしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・室内を活動に合わせてゾーニングすることで、遊び、リラックスなどのニーズに対応している ・季節を感じられる装飾等を施しているが、過度の刺激は避けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・プレイルームや医務室などを空けておき、いつでもリラックスしたり心を落ち着けたりできるようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・職員が意見を出し合える場(クラスミーティング)を月に1~2回設けている	・PDCAサイクルの進捗について全ての職員が情報共有できる仕組みを作る
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・定期的に内部で研修を実施し、職員同士の知識や技術を共有している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・毎日の朝礼、終礼以外にクラスミーティングの機会を設け、幅広く意見を把握し、改善につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・クラス担任が話し合いながら児童発達支援計画を作成している	・非常勤職員も含めたすべての職員が児童発達支援計画の作成に参画できるような仕組みを作る
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	・クラスミーティングの機会を月に1回以上設定し、活動の検討を行っている	・非常勤の職員も十分に立案に関わることができるような体制を整えていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・クラスミーティングにおいてクラスの状況に応じた活動内容の検討を行うようにしている	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・打ち合わせに参加しなかった職員にはクラスリーダーから必要事項の伝達を行っている	・非常勤の職員も支援前の打ち合わせに参加もしくは打ち合わせの内容を周知できるような体制を整えていく
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	・打ち合わせに参加しなかった職員にはクラスリーダーから必要事項の伝達を行っている	・非常勤の職員も支援後の打ち合わせに参加もしくは打ち合わせの内容を周知できるような体制を整えていく
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・就学支援シート等の文書、電話や面談などで情報共有を行っている	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	0	・他の児童発達支援事業所を利用している場合、その事業所と情報共有をしている	
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	・外部でリハビリを受けている場合、定期的に情報共有をし、助言を受けている	
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1		
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・個別支援面談に加え、電話やメール、連絡帳、交換ノートといった手段で保護者からの相談等に応じている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・クラス懇談会、合同懇談会を年3回ずつ実施し、保護者同士、保護者と職員が交流する機会を設けている	・きょうだいに参加できる行事等を検討、検討する
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・クラスだよりや園だよりを定期的に発行し、活動内容等を発信している	・HPの充実やSNSを活用して、活動内容を積極的に発信する
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0		・地域住民が参加できる行事を企画、実施する
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・研修だけではなくクラスミーティングや日常の打ち合わせの中で不適切な関わりがないかを話し合っている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すぎな愛育園ふらっぶ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価作成日	令和7年3月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・整備体制	・利用者がのびのびと過ごせる室内や園庭がある。安全に、快適に過ごせるよう、引き続き丁寧な環境整備を実施していく。	・敷地が広いので、利用者の把握が漏れないよう、スペースを限るなどの工夫や、職員同士の密な連携を今後もしていく。
2	適切な支援の提供	・5領域の視点を用いたアセスメントを行い、個別支援計画を立て、記録をもとに見直しを実施している。計画を立てる際は保護者にも相談し意見を取り入れている。	・引き続き保護者にも相談しながら、本人の希望も踏まえた個別支援計画であること、将来を見据えた個別支援計画であるよう、詳細なアセスメントをしていく。
3	保護者との連携	・帰りの迎えの際など、その日のご本人の様子をお伝えしている。より詳細な報告が必要な際は電話連絡などで情報の共有をしている。	・今後も利用者の余暇が充実したものになるよう、連絡帳や帰りの迎えの際など、日頃から情報交換を密にしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応	・避難訓練の実施回数が十分ではなかった。また、震災想定での訓練が多く、その他非常時の訓練が実施できていない。	・避難訓練の実施回数を増やす。 ・震災想定だけでなく、様々な自然災害、感染症、防犯などマニュアルに合わせた訓練が園全体として必要。
2	保護者への説明	・災害時対応マニュアルの配布はしたが、その他マニュアルについての説明・周知が不十分であった。	・災害時対応マニュアルだけでなく、安全対策や感染症、防犯マニュアルなどの説明、周知をしていく。また、わかりやすいマニュアルへの改訂も進めていく。
3	関係機関との連携	・学校との情報交換は引き渡し時に実施しているが、他事業所との連携は不十分である。複数箇所事業所を利用している利用者が多いので、統一した支援を実施するためにも連携は非常に大切である。	・関係者会議への積極的な出席 ・(保護者から了承を得たうえで、)利用者の情報交換を事業所同士で実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	すぎな保育園 ふらっぴ
------	-------------

公表日 2025年 3月31日

利用児童数 R7年3月12日 34名

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19				・プレイルームや園庭があり思い切り遊べる	・引き続き思い切り遊べるよう、丁寧な環境整備を行います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2		1	・何人が適切なかわからない	・国の基準である利用者10に対して職員2名の配置より1名多く配置しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19				・いつも清潔 ・室内の温度も適切に保っている	・引き続き心地よく過ごせるように細やかな環境設定を行います
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1	・支援プログラムは分りやすく合っている。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				・しっかり個別支援計画を作成している	・今後も相談を重ねながら丁寧に個別支援計画を作成していきます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			1	・季節に合わせた活動などとても工夫している	・今後も活動プログラムが固定化しないよう様々な活動を取り入れていきます
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	1	8	・希望していない	・今年度は土曜開所日に「こすもす」との交流を4回実施しました
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	1	8		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19					・今後も細やかに報告をさせていただきます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2		1	・月一回の利用なので特に不満はない	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1			・日々の育児で疲れて気持ちが沈んでいるときに、共感していただけるのですごく救われる	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	3	10	・コロナもあけているので交流の場があるとよい ・そのよなイベントがあってもなかなか参加できない	・月1回子育てサロンふわりの開催しております。是非ご利用ください。 ・今年度は夕涼み会を開催しました。次年度もぜひご家族でご参加ください。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			2	・相談などとても親身に聞いてくれる	・苦情・相談窓口を設けておりますのでぜひご利用ください



	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		2		・園だよりやふらっぴだよりを発行させていただいております。 ・自己評価結果はすぎな愛育園ホームページに掲載されております。ご参照ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		3		・非常災害時計画を配布しております。 ・周知・説明されていないマニュアルもありますので、適宜周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1		3		・避難訓練の回数を増やしていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			4		・既存のマニュアルの周知を適宜していきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			2		・しっかりと見守りをしている
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					・とても安心してリラックスしている ・自分の居場所があるようで安心感を持っている
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1		1		・通所をとても楽しみにしている ・いろいろな活動がありよい ・先生が優しい ・個人的理由で行き渋ることもあるが、行くと楽しんでいる ・とても落ち着いて好きなこともできている
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1				・支援や対応には満足。学校の休日の預かり時間が午後からのとお迎えがやや負担に感じる ・今後も利用者や保護者様に寄り添いながら、充実した余暇を過ごせるよう支援していきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すぎな愛育園 ふらっぴ				公表日	2025年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	1	室内と園庭をうまく使い分けて活動を進めている。	クールダウンできる部屋があるとよい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	基準よりも1名多く配置している。	曜日や利用者の状況により不足していると感じることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		スロープや段差をなくす工夫をしているため車いす利用者も利用しやすい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3			・普段の清掃では行き届かない部分は数か月に1度大掃除などがあるとよい ・水道の位置が低いいため、利用者によっては使いにくい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・参加しやすいようにリモートでの研修が組み込まれている ・研修内容は録画しており、欠席した職員なども見返せるようになっている		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		保護者の要望を踏まえたくうえで個別支援計画の作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1	利用人数や曜日に合わせて、興味を持ちそうな内容や、マンネリ化しないよう方法を変える工夫をしている。	園内デイ事業所でどのような活動を行っているか意見交換などができるとなおよい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		普段と違う様子、気づきがあった場合は共有を行い、次の支援につながるよう心がけている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		学校と連携はしているが機会は少ないように感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3			
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			